

# 9.11から15年 中東の混迷と「イスラム国」

2016  
**9.11日**  
開場 12:40  
**13:00-17:00**

**保坂修司 山根聡 酒井啓子 黒木英充**

【会場】 大手町サンケイプラザ 3F 301-304 会議室

【主催】 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中東イスラーム研究拠点

**入場無料 事前登録不要 先着順 300 名**

写真:「9.11事件直後に張り出された、家族や友人の行方を尋ねる張り紙をイメージした投影」  
錦田愛子撮影、ニューヨーク、2014年



# 9・11から15年 中東の混迷と「イスラム国」

人間文化研究機構「現代中東地域研究」事業 公開講演会

9月11日(日) 13時〜17時 開場 12時40分

世界に衝撃を与えた二〇〇一年の九月一日アメリカ同時多発テロから早くも一五年が経ちました。

この事件を契機に始まった「テロとの戦い」は、アフガニスタンからイラクへ拡大し、終わりの見えない戦火はさらにシリアを飲み込んで、中東地域は救いのない混迷のなかにあります。「イスラム国」の出現と世界規模に拡大したテロリズムは、今や私たちの日常を脅かし始めています。

この講演会では、9・11事件とその影響を振り返りながら、今、中東で何が起きているのか、第一線の専門家の方々に講演いただきます。



写真:「崩壊した世界貿易センタービル跡地に残された樹」  
錦田愛子撮影、ニューヨーク、2014年

【講演者】

保坂修司 日本エネルギー経済研究所 研究理事  
「アルカーイダと『イスラム国』」

山根 聡 大阪大学大学院言語文化研究科教授  
「宗教とテロの峻別へ——パキスタンの選択」

酒井啓子 千葉大学法政経学部 学部長  
「すべてのパンドラの箱を開けた9.11」

黒木英充 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授  
「対テロ戦争と世界内戦——最終的引金としてのシリア内戦」



【会場のご案内】

大手町サンケイプラザ 3F 301-304会議室  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2  
TEL: 03-3273-2230

東京駅丸の内北口より徒歩7分、地下鉄大手町駅直結 A4・E1出口

【お問い合わせ】

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
中東イスラム研究拠点  
府中市朝日町3-11-1  
<http://meis.aa-ken.jp/>  
e-mail: koenkai\_aa\_nihu@yahoo.co.jp